

今後の気象状況（高温等）に伴う農作物等の被害軽減対策について

令和2年3月19日
広島県農林水産局農業技術課

県内は、これまで暖冬傾向が続き、広島地方気象台が3月12日に発表した1か月予報によると、向こう1か月の平均気温は高い確率が80%と予想されています。

暖冬に伴い農作物の生育や病害虫の発生時期の前進化など、農作物への影響が懸念されます。最新の気象情報に注意しながら、対策に努めてください。

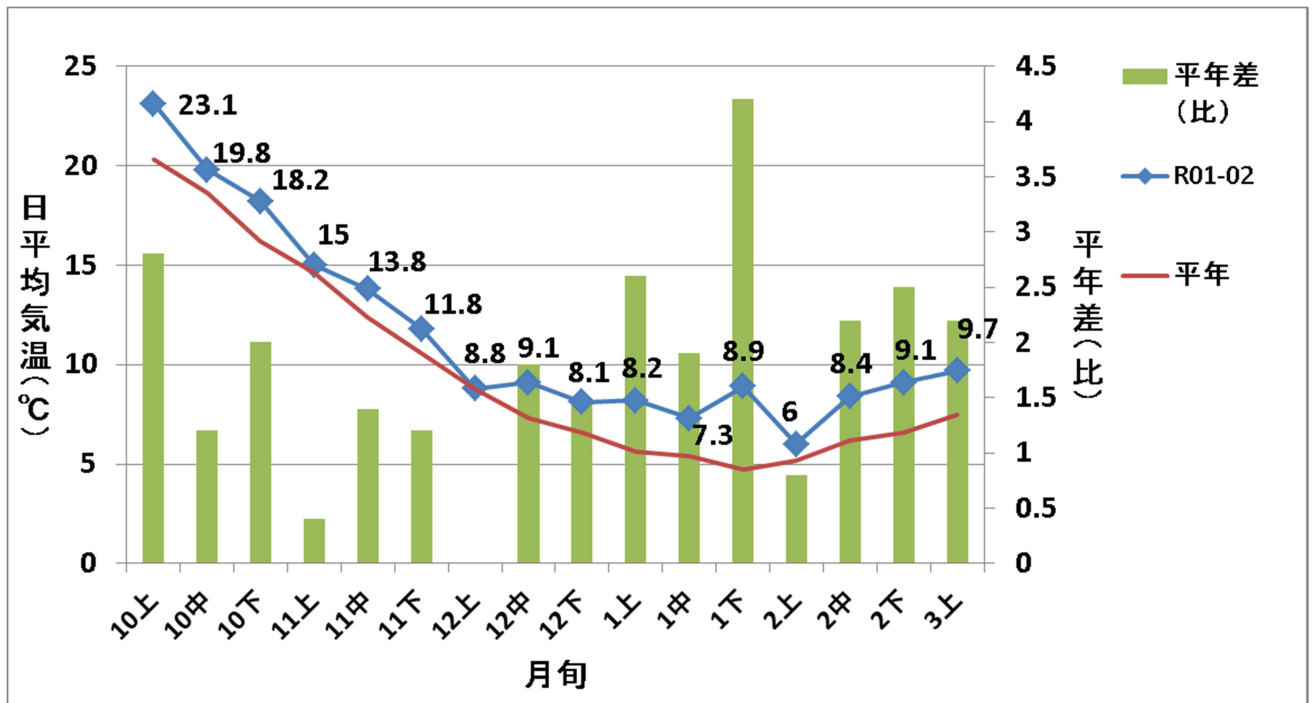


図 アメダスデータ月旬別日平均気温（広島市）

【水稻】

芽の伸びすぎによる播種時の芽の損傷等を招かないよう、種子浸種時の水温・浸種期間に十分注意する。

育苗期間中に晩霜害が予想されるときには、夜間、育苗トンネルやハウスを密閉して、二重被覆する。夜は10°C以上、日中は30°C以下になるよう育苗トンネル等の開閉に注意する。4°C以下になると、苗立枯病やムレ苗が発生しやすくなるので、被覆物で保温する。

本田では、苗の活着と初期生育の促進を図るため、漏水の防止、昼間の止水の励行等により水温の上昇に努める。

【麦類】

高温傾向により平年よりも生育が早期化している地域が多く、今後も平均気温が高い傾向で推移することが予想されることから、麦の生育状況を的確に把握し生育ステージや生育量に応じて追肥を行う。

茎立ちの早い品種では、生育の早期化による凍霜害での遅れ穂の発生が懸念される。遅れ穂の発生によって圃場内での出穂にバラツキが生じるため、特に赤かび病に弱い品種では、生育状況に応じた複数回の防除を徹底する。

【野菜】

(1) 高温傾向で推移することにより、生育が前進化することが予想されるため、生育状況を的確に把握し、適期に施肥・防除・収穫等を行う（ハウス等の施設野菜は【施設園芸】の項も参照）。

(2) 病害虫の発生予察やほ場の観察による発生動向の把握に努める。コナジラミ類、アザミウマ類、ハダニ類等の害虫は発生の早期化による大きな被害の発生が懸念されるので、早期発見、適期防除に努める。加えて、罹病した株の除去等ほ場の衛生管理に努める。

(3) 急激な冷え込みや凍霜害の懸念が予想される場合は、必要に応じ、トンネル、寒冷紗、不織布の被覆等により凍霜害の被害回避を図る。

【果樹】

(1) 開花の前進化が見込まれる場合は、開花期から幼果期における降霜及び予期しない低温による凍霜害の発生が懸念されることから、霜害警報連絡体制を整備し、防霜ファンの稼働等により霜害の発生防止に努める。燃焼で降霜を防ぐ場合は、火災防止等の観点から周辺環境に十分配慮するとともに、固形燃料や灯油、軽油等ばい煙の発生の少ない燃料を使用する。

また、凍霜害の発生が懸念される場合は、摘蕾・摘花を控えめに行うとともに、蕾や開花の時期に霜害を受けた場合は、残存花への人工受粉を行い、結実の確保に努める。幼果が霜害を受けた場合は、果実の状態を十分観察した上で摘果を実施する。

(2) 生育の前進による品種間の開花時期の不揃い、訪花昆虫の活動低下による受粉の不良等による結実不良が懸念される場合は、摘蕾・摘花を控えめに行うとともに、適切な時期に人工受粉を行い、結実の確保に努める。

(3) 病害虫の早期発生が懸念されるため、果樹園での発生状況や病害虫発生予察情報等に留意し、適時適切な防除に努める。また、罹病部位の除去等ほ場の衛生管理に努める。

【花き】

露地花きでは、高温により発芽や生育が早まることにより、春期の晩霜害が発生しやすくなることから、耐寒性の弱い品目についてはトンネル、寒冷紗、不織布等による被覆を実施する。

また、病害虫の発生予察やほ場の観察による発生動向の把握に努めるとともに、特に過湿状態の施設では、病害（うどんこ病、灰色かび病等）の発生が増加するため、施設の換気と早期防除に努める。

さらに、アブラムシ、ハダニ類等の病害虫の発生が早まるため、早期発見、早期防除を徹底する。

【施設園芸】

ハウス内の急激な高温に留意し、換気を遅れずに行う等、温度管理を徹底する。高温傾向による作物の軟弱化を防ぐため、施肥・かん水を適切に行うとともに予防的に薬剤散布を実施する。なお、日中が晴天の場合は、夜間は放射冷却により気温がかなり低下することがあるため、ハウス内の温度確保に努める。

さらに、アブラムシ、ハダニ等の病害虫の発生が早まるため、早期発見、早期防除を徹底する。

【畜産】

(1) 飼料作物の収穫作業や放牧の実施に際しては、牧草等の生育状況を踏まえ、適切な作業に努める。特に、今後高温が続くことにより、例年より作業時期が早まる可能性があることを考慮し、準備を進める。

(2) 土壌条件等により高温及び晴天の影響が大きく現れる地域では、土壌の保水力を向上させるため土壌改良資材の投入等を行うとともに、今後、播種を行う場合には、耐干性の優れた草種・品種の選定に努める。

問合せ先

西部農業技術指導所	東広島市八本松町原 6869	電話	082-420-9661
東部農業技術指導所	福山市三吉町丁目 1-1	電話	084-921-1311(代)
北部農業技術指導所	三次市十日市東4丁目 6-1	電話	0824-63-5181(代)
県庁農業技術課	広島市中区基町 10-52	電話	082-513-3559